

No. 2017-17

発行：2017年2月17日

**新材料開発技術「ADVANCED 4D NANO DESIGN」が  
欧州の「Tire Technology Expo 2017」で「Tire Technology of the Year」を受賞**

住友ゴム工業(株)(社長:池田育嗣)の新材料開発技術「ADVANCED 4D NANO DESIGN」が、2月14日(火)から16日(木)にドイツ・ハノーバーで開催された「Tire Technology Expo 2017」において、「Tire Technology of the Year」を受賞しました。



中央が中瀬古常務執行役員



「Tire Technology Expo」は、2001年より毎年欧州で開催されているタイヤ製造等に関する技術発表・展示会で、タイヤメーカーをはじめ素材メーカー、公的研究機関などがその研究成果を発表し、5つの分野(Tire Manufacturing Innovation of the Year、Environmental Achievement of the Year、Tire Technology of the Year、Tire Industry Supplier of the Year、Tire Manufacturer of the Year)で優秀な技術を表彰するものです。

当社独自の新材料開発技術「ADVANCED 4D NANO DESIGN」は、低燃費・グリップ・耐摩耗性能という、相反性能であるタイヤの三大性能を高い次元で両立するために、大型放射光施設「SPring-8」<sup>※1</sup>、大強度陽子加速器施設「J-PARC」<sup>※2</sup>、スーパーコンピュータ「京」<sup>※3</sup>という世界最高レベルの最先端大型研究施設の連携活用により、ナノからミクロンレベルまでゴムの内部構造を連続的かつ鮮明に解析し、シミュレーションすることを可能とした技術です。

今回の受賞は、当社の新材料開発における先進的な取り組みと、高い技術力が認められた結果であると考えており、今後もこの技術の採用により、低燃費・グリップ・耐摩耗性能を高い次元で両立し、顧客ニーズを満たした商品力の高いタイヤを生み出してまいります。

※1 世界最高性能の放射光を生み出すことができる大型放射光施設(兵庫県佐用郡佐用町)

※2 最先端研究を行うための陽子加速器群と実験施設群(茨城県那珂郡東海村)

※3 世界有数の計算速度を誇る、スーパーコンピュータ(兵庫県神戸市中央区)

ご参考：「Tire Technology Expo」ホームページ

<http://www.tiretechnology-expo.com/index.php>

「新材料開発技術「ADVANCED 4D NANO DESIGN」が完成」ニュースリリース

[http://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2015/sri/2015\\_130.html](http://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2015/sri/2015_130.html)



最先端大型研究施設の連携活用イメージ

以上